

# 果樹カメムシ類情報第3号

令和4年8月2日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

ヒノキ林から離脱し、果樹園に飛来する時期が早まる可能性があります  
新世代成虫の発生量は平年並と予測します

## 1 チャバネアオカメムシの発生状況

(1) 予察灯における誘殺数は、6月以降は豊橋市、新城市ともにおおむね平年並で推移しています(図1)。

(2) フェロモントラップにおける誘殺数は、6月中旬に誘殺数が急増した地点がありましたが、7月以降は全体的に平年並からやや少ない状況です(図2)。

(調査地点：豊川市、豊田市、幸田町、新城市、小牧市)

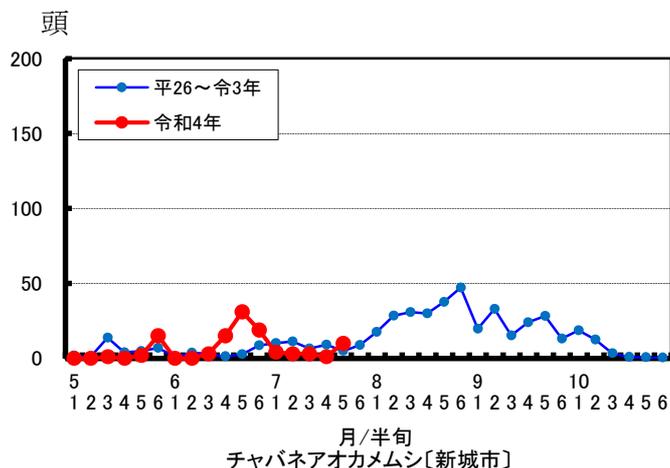
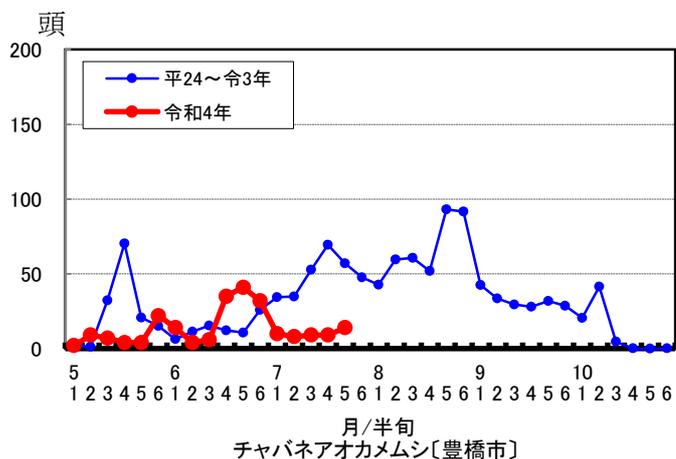


図1 予察灯における誘殺状況

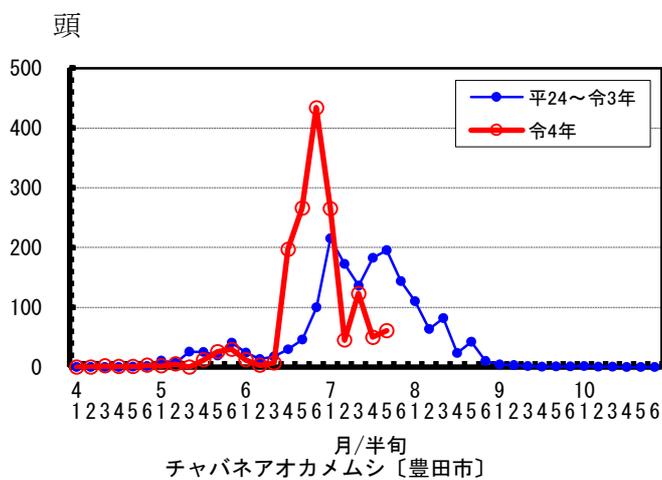
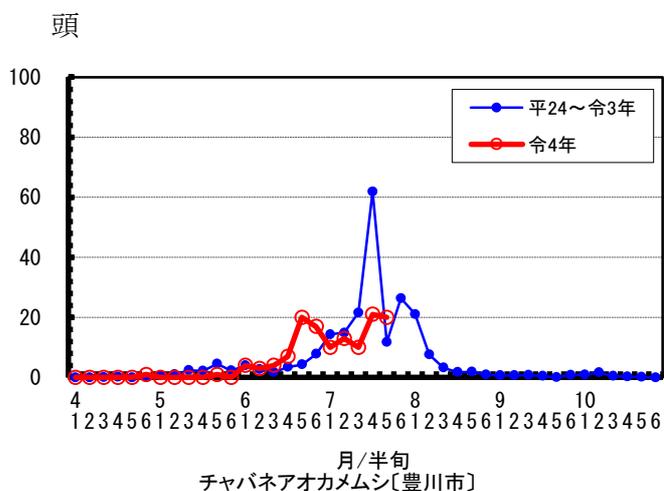


図2 フェロモントラップにおける誘殺状況

(3) 7月下旬にヒノキ林で調査を行ったところ、ヒノキ1結果枝当たりのチャバネアオカメムシの生息虫数は、成虫が0.43頭(平年0.31頭)、幼虫は0.45頭(平年0.33頭)で(図3)、過去10年と比較して成虫、幼虫ともに5番目でおおむね平年並の状況でした。

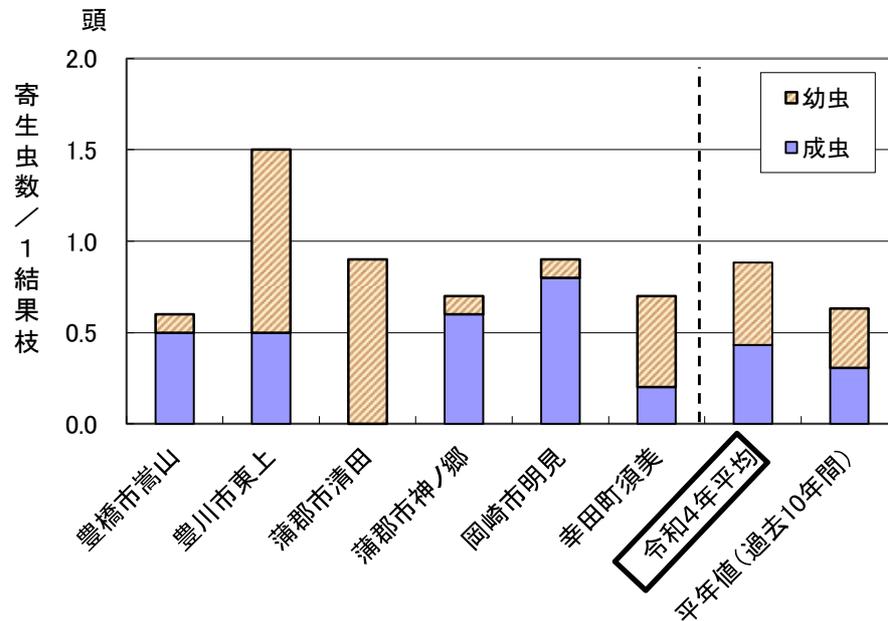


図3 7月下旬のヒノキ球果におけるチャバネアオカメムシ生息虫数

## 2 今後の発生予測

- (1) 現在は、越冬世代成虫から新世代成虫への世代交代時期に入っています。調査地のヒノキ球果の結実量が平年並、ヒノキ1結果枝当たりのチャバネアオカメムシ幼虫の寄生数は平年並であることから、8月以降に発生する新世代成虫の発生量は、平年並と予測します。
- (2) ヒノキ球果におけるカメムシ類の口針鞘数(吸汁した痕)が25本になると、餌として不適になるため、ヒノキ林から離脱すると言われていています。7月20日、21日に採取したヒノキ球果における口針鞘数から、離脱開始時期を予測したところ、下表のとおりとなりました。蒲郡市清田町及び豊川市東上町では8月上旬、その他の地域では8月下旬に離脱を開始すると予測します。離脱時期が早くなる可能性があるため、注意が必要です。
- (3) 中山間部に近い果樹園や例年飛来量が多いほ場では、下表の離脱開始予測時期を参考に、園内の発生状況に十分に注意し、飛来を確認したら防除しましょう。特に、スギ・ヒノキ林の近くの果樹園では、台風通過などで突発的に飛来が急増することがあるので、注意しましょう。

表 ヒノキ球果におけるカメムシ類の口針鞘数

調査地点	豊橋市 嵩山町	豊川市 東上町	蒲郡市 清田町	蒲郡市 神ノ郷町	岡崎市 明見町	幸田町 須美
1球果当たりの口針鞘数	3.7	11.6	11.4	3.1	5.7	4.8
離脱開始予測時期	8月下旬	8月上旬	8月上旬	8月下旬	8月下旬	8月下旬